

たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2004年1月29日

41号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

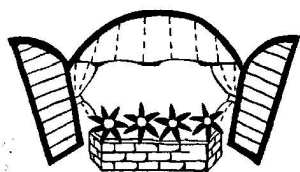
住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

情報発信の活動盛況に



重度障害者の生活写真展おわる

厳しい寒さの朝が続きます。新年の雰囲気を楽しんだのもつかの間、写真展の準備が始まり、あっという間の1ヶ月がすぎました。

1月19日から24日まで「支える会」の活動のひとつ「重度障害者の生活を紹介する写真展」が大倉山のギャラリー「かれん」で開催されました。今年は、2回目の写真展でしたが、共同募金配分金事業として助成金をいただきご案内も少し多く出せましたので、その分多くの方にご来展いただき盛会でした。

重い障害をもった人たちは、なかなか社会の中に出て皆さんに会う機会もなく、ご理解いただく機会が少ないので、このようにこちら側から情報を発信していくことが大切だと考えてきました。

デイサービスの活動の中で、職員やボランティアの皆さんに助けられて楽しい一日を過ごす、さまざまなプログラムでの表情や、ポートレート。グループホームでの様子などの他、支える会の活動の紹介など。どれも素敵な笑顔……。

重い障害をもっている人も、その人に合った適切な支援があれば、誰もがいきいきと暮らせるのです。そしてこれからもずっと楽しく暮らしていけるよう、この笑顔が続くよう見守り、共に支えて欲しい。そんな私達のメッセージを受け止めてもらえたのではないかと思います。

* * *

さて、グループホーム第2館めですが、もう屋根と外壁が出来上がりました。コンセントなどの位置や細かい配線になども昨日の会議で確認し、これからは、いよいよ家具や電気製品などの買い揃えにかかります。いまのところ予定通りに運んでいます。

スタッフもほぼ揃いましたが、あと非常勤職員を一名募集しています。お心当たりの方がいたらご紹介ください。

笑 顔

下田地区民生委員協議会

会長 岩崎千恵

いつも感じていたことですが、友子さんをはじめ「よつば」の皆さんの笑顔は本当に美しい、ということ。「こんにちは」と言う挨拶に、皆ニコニコと笑顔で答えてくれます。心が和みますね。

この度、友子さんから「たわわ」の原稿依頼のお手紙をいただいた時、すぐにこの笑顔が頭に浮かびました。そしたら図らずも、同封されていた写真展の案内状を拝見したら、「ステキな笑顔の中に」とありましたので、ちょっとびっくりしました。やっぱり誰もが感じていたのですね。

私達の仕事は、ひとり暮らしの高齢者の見守りや、子育て支援、それから障害者の相談など多岐にわたって地域の方々の相談相手という事でしょうか。今、世の中は暗いニュースも多く問題もたくさんあります。そんな忙しさの中でも常に笑顔で人に接する事を心掛けているのですが・・・。

暗いニュースが多いこの頃ですから、皆さんの笑顔が光っているのです。これからも、私達の心を癒す笑顔をいつも見せて下さい。



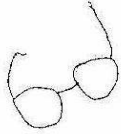
リハビリを通して

理学療法士 小林由香里

月一度のリハビリをさせて頂いている理学療法士の小林由香里です。よつばにお邪魔するようになって7年近くになります。当初私は理学療法士になったばかりで、よつばでの私の役割がわからず、また、所員の方々にどのような接し方をすれば良いのか悩みました。しかし、私の悩みはすぐに解消されました。なぜなら、毎日、運動の時間が設けてあることや、ご家族や職員の皆さんが、所員の方一人一人の体をよく観察している様子から、皆さんリハビリへの関心が高い事がわかったからです。また、所員の方々も普段、体に触られる事が苦手でも、リハビリの時は嫌がらずに協力して下さったり、「小林先生!」「ミッシェル! ミッシェル!」(ジローさん限定の呼び方ですが・・・。)と笑顔で呼んでくださるので、とても良い環境で経験を積ませて頂くことが出来ました。

今でも、お役に立てることは何か?と模索していますが、所員の方々をはじめご家族や職員の方に御指導頂きたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。





めがねのこえ

今年はとても寒い日が多いです。みなさん風邪をひいていませんか？

12月に「グループホームを考える横浜のつどい」という大きな集会がありました。

長野県から講師の方が来て、大きな施設にいる人たちが地域のグループホームに住めるように頑張っているお話をしていました。

午後からは何人かの人が少しずつ話すシンポジウムになりました。

横浜のグループホーム連絡会の室津さんも話しました。

「施設を作るのにはとてもたくさんのお金がかかります。横浜ではいまでも新しい施設をつくろうとしています。そのお金でグループホームがたくさん出来れば、いま施設にいる人も外に出ることが出来ます。その空いたところにどうしても施設に行く必要がある人が入ればいいのではないのでしょうか。たくさんのお金をもっとグループホームに使うべきだ」と話しました。

いまは障害者も地域の中を歩き、そこでずっと暮らし続けたいと頑張っています。

このごろはグループホームもたくさんできてきましたが、「よつばホーム」のようにたくさんの方の手や、いろいろな福祉機器が必要などころにお金を回して欲しいと思いました。

大 原 友 子

障害者の生活写真展に参加して

高 畠 慶 子

通りから中をのぞく人、ただ通り過ぎる人、なんだろうと中に入ってくくださる人・・・。

出来るだけ邪魔にならないようにそばに立ち、説明のようなことをさせていただきました。顔見知りの方、お世話になっている方々も多数来てくださいました。記帳されている中に知っている名前があるとうれしくもあり、また懐かしい名前もありました。

友人にも「こんなことをしているよ」とハガキを出して知らせました。直接顔をあわせられなかったけれど後から聞き、出してよかったと思いました。

障害者のその時々表情、日頃の過ごし方など多くの方々に知ってもらうことが本当に大切なことだと思いました。

ご入会・ご継続ありがとうございます。

《賛助会員》 有田 多恵子 小坂 泰子 北村 清子 高橋 フジ子

(敬称略) 平成16年1月29日現在

今月のよつばホーム

こんにちは。以前、こちらでご紹介した様に、よつばホームでは毎週金曜日に『リクエストメニュー』として入居者のリクエストで、夕食が決まります。もちろんそれぞれ好みが違う、みんなの個性が表れてとてもおもしろいです。

例えば、J 郎さんは色々手の込んだもの・風変わりなものをリクエストする”グルメタイプ”。

F 田さんは、野菜よりも肉・魚を好み、パンと一緒に食べたい”洋風スタイル”。

S 津子さんは、和食・野菜を中心とした”ヘルシータイプ”。

H 岡さんは、何があってもカレーが好きな”マイウエイタイプ”。

(ちなみに私は”H 岡さんタイプ”に入ります。2月は金曜日の勤務が無いので、カレーが食べられない・・・。)

今回は、H 岡さんにスポットを当てて、H 1 4 年度一年間のH 岡さんメニューをピックアップしてみました。

H14. 05. 17 小松菜と豆腐のチャンプルー・さやいんげんのチーズ春巻き・ごはん・味噌汁 ※まだリクエスト慣れしてない??

H14. 06. 14 チキンカレー・きのこスープ・ブロッコリーのサラダ

H14. 07. 12 かつ丼・味噌汁・ほうれん草のお浸し

H14. 08. 23 ごはん・たまごとわかめのスープ・シュウマイ・トマトのイタリアンサラダ

H14. 09. 27 チキンカレー・コーンスープ・ブロッコリーとわかめのスープ

H14. 10. 25 チキンカレー・コーンスープ・サラダ

H14. 11. 22 ビーフカレー・コーンスープ・サラダ

H14. 12. 27 イカとしめじのカレースープ・ごはん・コーンじゃが炒め

H15. 01. 31 チキンカレー・わかめとえのきのスープ・ブロッコリーのマヨ酢みそ

H15. 02. 28 たまごカレー・きのこスープ・ほうれん草のお浸し

H15. 03. 31 鮭のきのこあんかけ・ほうれん草の味噌汁・ブロッコリー多めのサラスパ

※このメニュー決めは以前ご紹介しましたね。

H 1 4 年度は、『リクエストメニュー』したばかりと言うこともあって、まだ遠慮があったんでしょうか? (^ ^)

H 1 5 年度はどうなってるかな??? 次の機会に紹介しますね!

○カレー系 : 6 3. 6 % ※H 1 4 年度リクエスト食材

○コーン系 : 3 6. 4 %

○ブロッコリー系 : 3 6. 4 % 以降も引き続き調査中♪

